



本校では、学年ごとに行われるスタッフ会の中で、児童生徒の中心課題を出し、担任・担当間で共通理解を図り、実践にあたります。中心課題の抽出の仕方から、指導目標の設定までをご紹介します。

中心課題を抽出し、自立活動の指導目標を考える

実施の仕方

- ① 実態を出す
- ② 実態から課題を出す。
課題同士の関連を考える。
- ③ 指導目標を設定する。
- ④ 6区分の中から、目標達成のために必要な項目を選ぶ。
- ⑤ 選んだ項目の関連を考える。

↑このような流れで行っていきます。

① 実態を出す

- A 子どもが得意なこと、好きなこと
- B 教師が課題と感じている言動等

上記の視点で、実態を付箋に書き出します。A、Bは付箋の色を変えると見やすいです。

【得意なこと、好きなこと】

バスに興味がある

何かを手を持っている

見通しがもてると自分から行動する

動きの模倣ができる

赤色が好き

着席して授業に参加できる

着替えや排せつは支援が必要だが、自分で行おうとする

選択肢があれば自分の気持ちを表すことができる

聞かれていることが分かり、応じて行動することが多い

簡単な英単語の指示は理解して行動できる

写真を見て、何をしているか理解し、カードを選択して答えることができる

選択肢があれば、自分の気持ちを表すことができる

【教師が問題と感じている言動等】

興味が転導する

下校時に最後に教室を出たがる

新しい人には不安がある

自分のやり方、思いと異なると活動が中断する

少しのずれが気になり、直さないといられない

自分なりのやり方を押し通そうとする

周りが気になり、集中できない

母子分離がしづらい

②-1 課題やできることを6区分に分ける

<p>健康の保持</p>	<p>心理的な安定</p> <p>赤色が好き バスに興味がある</p> <p>何かを手を持っている</p> <p>興味が転導する</p> <p>下校時に最後に教室を出たがる</p>	<p>人間関係の形成</p> <p>新しい人には不安がある</p> <p>母子分離がしづらい</p>
<p>環境の把握</p> <p>着替えや排せつは支援が必要だが、自分で行おうとする</p> <p>見通しがもてると自分から行動する</p> <p>動きの模倣ができる</p> <p>自分のやり方、思いと異なると活動が中断する</p> <p>少しのずれが気になり、直さないといられない</p> <p>自分なりのやり方を押し通そうとする</p> <p>周りが気になり、集中できない</p>	<p>身体の動き</p> <p>動きの模倣ができる</p> <p>着席して授業に参加できる</p>	<p>コミュニケーション</p> <p>簡単な英単語の指示は理解して行動できる</p> <p>聞かれていることが分かり、応じて行動することが多い</p> <p>写真を見て、何をしているか理解し、カードを選択して答えることができる</p> <p>選択肢があれば、自分の気持ちを表すことができる</p>

学習上又は生活上の困難や、これまでの学習状況の視点で整理

数年後の姿の観点から整理

②-2 「学習上又は生活上の困難や、これまでの学習状況の視点で整理」、「数年後の姿の観点から整理」する

<p>健康の保持</p>	<p>心理的な安定</p> <p>赤色が好き バスに興味がある</p> <p>何かを手を持っている</p> <p>興味が転導する</p> <p>下校時に最後に教室を出たがる</p>	<p>人間関係の形成</p> <p>新しい人には不安がある</p> <p>母子分離がしづらい</p>
---------------------	--	---

<p>環境の把握</p> <p>着替えや排せつは支援が必要だが、自分で行おうとする</p> <p>見通しがもてると自分から行動する</p> <p>動きの模倣ができる</p> <p>自分のやり方、思いと異なると活動が中断する</p> <p>少しのずれが気になり、直さないといられない</p> <p>自分なりのやり方を押し通そうとする</p> <p>周りが気になり、集中できない</p>	<p>身体の動き</p> <p>動きの模倣ができる</p> <p>着席して授業に参加できる</p>	<p>コミュニケーション</p> <p>簡単な英単語の指示は理解して行動できる</p> <p>聞かれていることが分かり、応じて行動することが多い</p> <p>写真を見て、何をしているか理解し、カードを選択して答えることができる</p> <p>選択肢があれば、自分の気持ちを表すことができる</p>
--	--	--

学習上又は生活上の困難や、これまでの学習状況の視点で整理

- 自分なりのルール、やり方、好みからずれるのが嫌
- 目に入った物を手に入れたがる
- 積み重ねることで見通しがもてる
- 手に物を持っていると安心する
- 選択することで意思を表出する

数年後の姿の観点から整理

※小学校段階の場合は、中学、高等学校段階を想定する

- ◎ 目の前の課題に最後まで取り組んでほしい
- ◎ 適切な表出手段で意思を表出してほしい
- ◎ 他者の提案を受け入れて(折り合いをつけて)取り組んでほしい

②-3 6区分ごとに、整理した情報から指導すべき課題を書き出す。「強み」も書き出す。

<p><u>健康の保持</u></p>	<p><u>心理的な安定</u></p> <p>(心理的な安定) 目に入ったものに行ってしまう 衝動性がある …… 特性</p>	<p><u>人間関係の形成</u></p> <p>(人間関係の形成) 新しい人に対する不安がある ⇒ 人間関係に積み重ねが必要である 核となる人を中心に広げていく</p>
<p>(環境の把握) 自分なりのルールを押し通してしまう ⇒ 見通しをもって他者を受け入れるための力が必要</p> <p>(環境の把握) 経験したことで、絵カードとの結びつきが早い ⇒ 積み重ねると見通しがもてる</p>	<p><u>身体の動き</u></p>	<p><u>コミュニケーション</u></p> <p>(コミュニケーション) 選択肢があると意思表示できる ⇒ 絵カードや身振り等の表出手段の獲得の指導が必要</p>

学習上又は生活上の困難や、これまでの学習状況の視点で整理

- 自分なりのルール、やり方、好みからずれるのが嫌
- 目に入った物を手に入れたがる
- 手に物を持っていると安心する
- 積み重ねることで見通しがもてる
- 選択することで意思を表出する

数年後の姿の観点から整理

- ◎ 目の前の課題に最後まで取り組んでほしい
- ◎ 適切な表出手段で意思を表出してほしい
- ◎ 他者の提案を受け入れて(折り合いをつけて)取り組んでほしい

②-4 書き出した「指導すべき課題」を関連付けていく。 → 原因と結果の関係 ← → 相互に関連しあう関係

(心理的な安定)

目に入ったものに行ってしまう。
衝動性がある …… 特性

※この項目は、「特性」として捉え、配慮する事項とする。「気になる物は学習場面には置かず、視覚刺激を整理する。」など。

(環境の把握)

自分なりのルールを押し通してしまう
⇒ 見通しをもって他者を受け入れるための力が必要

(環境の把握)

経験したことと、絵カードとの結びつきが早い
⇒ 積み重ねると見通しがもてる

(人間関係の形成)

新しい人に対する不安がある
⇒ 人間関係に積み重ねが必要である
核となる人を中心に広げていく

(コミュニケーション)

選択肢があると意思表示できる
⇒ 絵カードや身振り等の表出
手段の獲得の指導が必要

矢印が多く出ていることから、この項目が中心課題となる。

③ 指導目標を設定する。

(心理的な安定)
目に入ったものに行ってしまう。
衝動性がある …… 特性

※この項目は、「特性」として捉え、配慮する事項とする。「気になる物は学習場面には置かず、視覚刺激を整理する」など。

(環境の把握)
経験したことと、絵カードとの結びつきが早い
⇒ 積み重ねると見通しがもてる

(環境の把握)
自分なりのルールを押し通してしまう
⇒ 見通しをもって他者を受け入れるための力が必要

(人間関係の形成)
新しい人に対する不安がある
⇒ 人間関係に積み重ねが必要である
核となる人を中心に広げていく

(コミュニケーション)
選択肢があると意思表示できる
⇒ 絵カードや身振り等の表出手段の獲得の指導が必要

【中心的な課題(今指導すべき課題)】

○自分のルールを押し通そうとする様子があることから、他者を受け入れる力を育成することが必要となる。

○安定した人間関係を中心に、自分から関わろうようにする。

○伝えやすい表出手段を身につける。

【長期目標】

○学級外の先生と関われるようにする。

【短期目標】

○学級の先生と一緒に、学級外の先生で、学習に多く関係している先生に関われるようにする。

○挨拶を返す経験を積む。

④ 6区分の中から、目標達成のために必要な項目を選ぶ。 ⑤ 選んだ項目の関連を考える。

<p>【中心的な課題(今指導すべき課題)】</p> <p>○自分のルールを押し通そうとする様子があることから、他者を受け入れる力を育成することが必要となる。</p> <p>○安定した人間関係を中心に、自分から関われうようにする。</p> <p>○伝えやすい表出手段を身につける。</p>	<p>【長期目標】</p> <p>○学級外の先生と関われるようにする。</p> <p>【短期目標】</p> <p>○学級の先生と一緒に、学級外の先生で、学習に多く関係している先生に関われるようにする。</p> <p>○挨拶を返す経験を積む。</p>
--	--

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
-------	--------	---------	-------	-------	-----------

「指導目標」をどこでの様に指導するか、「指導場面」まで決定します。

スタッフ会は学年グループで行い、児童生徒の「今指導すべき課題」「指導目標」「配慮事項」を共有します。多角的に実態を捉えることができ、共通理解の下、指導を行うことができます。

指導目標	<p>○他者と一緒に活動する。(ゲームを通して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の受け入れ ・適切な表現方法 ・好きなことを見つける 	<p>○学級外の教師と関わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関わり方の拡充 ・適切な関わり方
指導場面	<p><u>時間の指導</u></p> <p>題材名 「一緒に遊ぼう」</p>	<p><u>全体の指導</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽、体育 ・登下校 ・係活動

